

科目名	医療コミュニケーション学 [科目番号： 41018120]		
タ ャ ム	S 1	単 位 数	2 単位
曜日・授業時間帯	火曜 3、4 時限		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	木内貴弘、奥原剛 他		
授 業 の 目 的	本講義の目的は、医療コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）の理論と実践を体系的に学習することにある。ヘルスコミュニケーション学とは、医療・公衆衛生分野を対象としたコミュニケーション学であり、保健医療専門職間、保健医療専門職と患者・市民間、患者・市民間等における健康や医療に関連した知識や情報などのコミュニケーションを対象とする。本講義では、保健医療・公衆衛生分野における専門職として効果的なコミュニケーションを実践するために必要な、(1)コミュニケーションの基本的な理論、(2)コミュニケーションの具体的な方略やスキル、(3)コミュニケーションの評価・分析方法等を取り扱う。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な基礎的な知識を得ることができる。		
授 業 の 方 法	各回 1 テーマの講義を原則とするが、グループワークを行うことがある。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	4 月 8 日 3 限 13:00-14:45	医療(ヘルス)コミュニケーション学概論	木内貴弘
	4 月 8 日 4 限 14:55-16:40	ヘルスコミュニケーションの研究	奥原剛
	4 月 15 日 3 限 13:00-14:45	よりよい患者・医療者間コミュニケーションに向けて ①患者の語りによるコミュニケーション教育	香川由美 (岩手医科大学)
	4 月 15 日 4 限 14:55-16:40	よりよい患者・医療者間コミュニケーションに向けて ②実証研究に基づくコミュニケーションの改善	石川ひろの (帝京大学)
	4 月 22 日 3 限 13:00-14:45	リスクコミュニケーション&コミュニティエンゲージメント:理論から実践へ	加藤美生 (国立健康 危機管理研究機構)
	4 月 22 日 4 限 14:55-16:40	組織のコミュニケーション コーチング・カウンセリング・メンターリング	榊原圭子 (東洋大学)
	5 月 13 日 3 限 13:00-14:45	メディアコミュニケーションを理解する ①新聞	本田麻由美 (読売新聞)
	5 月 13 日 4 限 14:55-16:40	よりよい患者・医療者間コミュニケーションに向けて ③外国人患者とのコミュニケーション	大野直子 (順天堂大学)
	5 月 20 日 3 限 13:00-14:45	行動変容のためのヘルスコミュニケーション	奥原剛
	5 月 20 日 4 限 14:55-16:40	ビジュアルコミュニケーション 臨床におけるビジュアルツールの役割と影響	原木万紀子 (Tallinn University)
	5 月 27 日 3 限 13:00-14:45	メディアコミュニケーションを理解する ②インターネット	中山和弘 (聖路加国際大学)
	5 月 27 日 4 限 14:55-16:40	メディアコミュニケーションを理解する ③テレビ	藤本洋平 (NHK)
	6 月 3 日 3 限 13:00-14:45	ソーシャルマーケティングによる価値創造:理論と実践	瓜生原葉子 (同志社大学)
	6 月 3 日 4 限 14:55-16:40	まとめ: グループ討論と総合討論	木内貴弘、奥原剛、 岡田宏子
教科書・参考書等	- 石川ひろの 著. 保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門. 大修館書店. 2020 (教科書、他は参考書) - 奥原剛 著. 実践 行動変容のためのヘルスコミュニケーション. 大修館書店. 2021 - Athena du Pre. Communicating About Health: Current Issues and Perspectives. 5th ed. Oxford University Press. 2016 - Philip Kotler, Nancy R. Lee. Social Marketing: Influencing Behaviors for Good. Saga Publications 2019.		
成績評価の方法	講義への出席 (40%)、E ラーニング受講 (10%)、レポート (50%) による。		
他の授業との関連	医療コミュニケーション学演習の前に受講することが望ましい。すべての科目と関係が深い。公衆衛生の研究、実務において、コミュニケーションを考慮することなしに成立する学問は存在しない。		